

閉幕まであと 5 日！

8 月 27 日(火) 5 館 総入場者数 25 万人達成!! 開幕より 137 日目

青森県内 5 つの美術館・アートセンターによるアートフェス

AOMORI GOKAN アートフェス 2024 「つらなりのはらっぱ」

2024 年 4 月 13 日(土) — 9 月 1 日(日)

AOMORI GOKAN アートフェス 2024 は、全会期 142 日間のうち開幕より 137 日目となる 8 月 27 日(火)、開催館 5 館（青森県立美術館、青森公立大学国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、八戸市美術館、十和田市現代美術館）における対象展覧会の総入場者数が 25 万人に達しました。近代が生み出した自律した主体としての「人間」を見直し、そこから排除された存在や思考に目を向けた展示「野良になる」を開催中の十和田市現代美術館で、記念セレモニーを実施しました。25 万人目の来場者は八戸市から来館した法官（ほうがん）親子で、莉子（りこ）さん 10 歳と、いとこの黒坂叶聖（くろさかとわ）さん 12 歳。その場で行われたセレモニーでは、



25 万人目となった法官莉子さんと（左）と黒坂叶聖さん。プレゼンターを務めた鷺田館長

十和田市現代美術館の鷺田めるろ館長が公式グッズのトートバッグやりんごのふがし、十和田市現代美術館の参加アーティスト、アナイス・カレニンの作品をモチーフにした T シャツなどをお渡しました。来館は、莉子さんが小学校で配布された「GOKAN ファイルブック」の鑑賞シートを集めるのがきっかけで、いとこの叶聖さんも夏休みの思い出にとご家族と一緒に連れてきてくれたそうです。25 万人目の来場者と聞いて莉子さんは「びっくりした」。叶聖さんは「うれしかった」話してくれました。「GOKAN ファイルブック」は美術館に親しみ、作品との出会いを楽しむため 5 館共通のラーニングプログラムの一環として作成した小学高学年向け鑑賞ツールで、青森、弘前、八戸、十和田市の小学校（対象児童全員）に配布をしました。（鑑賞シートは各館ごとに異なります）尚、「野良になる」は 11/17（日）まで開催します。5 館の共通企画として各館を巡回してきた栗林隆の体験型作品《元気炉》が最終地、弘前れんが倉庫美術館で 8 月 28 日（水）より最終日となる 9 月 1 日（日）まで展示されます。会場ではイベントも開催され、5 ヶ月に及ぶ AOMORI GOKAN アートフェス のフィナーレを飾ります。

【栗林隆《元気炉》】弘前れんが倉庫美術館（最終巡回先）開催概要

- 展示期間 8 月 28 日（水） - 9 月 1 日（日）土淵川吉野町緑地（弘前れんが倉庫美術館前）
- 作品稼働日 8/30（金） - 9/1（日）全日 17 時 - 20 時 * 8/30、31 は夜間開館
- イベント ○ 8/30・9/1 は弘前ゆかりの音楽家や、自ら制作した土器の太鼓「縄文太鼓」をジャポニズムとアフリカンを融合した独自の演奏スタイルで独奏する太鼓演奏家・茂呂剛伸（9/1 のみ）が登場。○ 8/30 - 9/1 は L PACK. によるイベント《いっしょくたにへば たげめぐるはんで》を開催。オリジナルの屋台でコーヒーやクラフトビールが楽しめます

AOMORI GOKAN アートフェス 2024 本フェスは、2024 年 4 月 12 日（土） - 9 月 1 日（日）まで開催する、青森県で初めて県内の個性豊かな 5 つの美術館・アートセンター（青森県立美術館、青森公立大学国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、八戸市美術館、十和田市現代美術館）が連携し、各館における多様なアート体験と共に、青森県を周遊してもらうことを目的に開催するアートプロジェクトです。